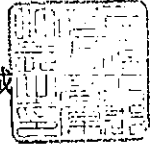


久建(公)第54号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

久万高原町長 高野 宗城



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

平成20年9月19日付 国道企第37号 で依頼のあったこのことについては、
別紙のとおりです。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

道路は、住民生活や経済社会活動を支える最も重要な社会資本で、道路が唯一の交通手段である地方にとっては、道路なくしては日常生活にも支障をきたし、産業振興のためにも不可欠な地域を支える基盤であり、その整備は、長年にわたり住民が熱望しているところである。

しかし、四国地方においては、地形が急峻で地質も脆弱なことに加え、落石や地すべりなどの自然災害の恐れのある箇所が多く極めて危険度の高い状況にあり整備が遅れている。また、台風の襲来や豪雨の度に事前通行規制が幹線道路で行われ、孤立地区が発生するなど地域生活・産業経済活動に支障が出ている。そのうえ、線形不良箇所では、交通事故が多発するなど、依然として安全安心に道路を利用することができない。

道路整備は、住民の利便性を向上させ、地域経済の振興に多大の成果があげられることが期待されており、また、道路利用者の安全・安心の確保はもちろんのこと、幹線道路での事前通行規制の緩和にもつながり、定時性の確保ができるなど物流や人の交流はもちろん、都市と農村の交流が促進され、生活圏も拡大し、山間部の過疎化の歯止めにもつながるものと期待されている。今後は、必要と判断される地方道路の着実な整備推進をお願いしたい。

○ 要 望 事 項

1. 四国地方の中山間地においては、地域の生活や活性化の基盤となる一般国道や地方道(県道、市町村道)の整備を強力に推進することが重要であり、これらの事業を「中期計画」に盛り込むこと
2. 防災危険箇所対策、交通安全対策などの整備をすることにより、住民が安全・安心で快適な暮らしが確保できるよう、生活環境づくりにつながる道路整備を推進すること。

○現状

1. 住民にとって車が唯一の足(移動手段)であり、住民の生産活動と生活に支障が生じている。

- ・ 異常降雨時には、事前通行規制
- ・ 幹線道路でも未改良区間が多く車の離合が難しい
- ・ スムーズな走行ができず移動に多くの時間を要する
- ・ 交通事故の危険性が高い

2. 住民の生命、財産を守る迅速な消防救急業務に支障がでている。

- ・ 幅員が狭く緊急車輛の円滑な業務ができない
- ・ 高度医療施設への搬送時間が全国平均の2倍を要する

3. 幹線道路に未改良箇所、防災危険箇所が多いことから、雨量によって事前通行規制がかかり、孤立地区が発生するなど住民生活に影響を与えている。

- ・ 救命救急など緊急時となった場合の不安
- ・ 食料品など生活物資が購入できない
- ・ 農産物など生鮮作物の出荷ができなくなる
- ・ 交通事故の危険性が高い
- ・ 病院への通院ができなくなる

○課題

地方にとって道路整備は、地域活性化の基盤となる社会資本の整備であり、最大の課題である。

道路特定財源の一般財源化は、益々、地方道路整備が遅れることになると共に、納税者の理解が得られないと思われる。

都市部の方たちの道路感覚は交通機関に恵まれている認識で、地方の道路事情や交通事情を理解されないと思われるが、道路整備の遅れは、地方の行政及び住民にとっては大変困難を極めている問題である。

道路は、国民誰もが必要とするものであり、都市、地方にかかわらず利用者の立場に立った整備に配慮してほしい。また、受益者負担に応じた地方事業予算の配分などを考え実態に基づき重点的な道路整備が必要ではないか。

① 住民ニーズの広域化・高度化への対応

平成16年8月の合併(1町3村)により誕生した行政区域は、通勤・通学・買い物・通院など住民が日常生活で移動する範囲は、町村という枠を越えて拡大しており、専門的で高度な行政サービスを安定的に提供できる体制を築くことで、住民の生活スタイルに合った行政運営を行うことが必要となっている。

② 高齢化・過疎化の進行への対応

少子・高齢化に対応して、高まる保健・医療・福祉等への要望に即応できる行政サービスを提供可能な体制づくりの推進

③ 地域の活性化

地域資源と立地条件を活かした活力のある産業の育成・誘致や、道路・下水道等生活環境の充実、保健・医療・福祉環境の充実などの施策を総合的に展開することが可能となり、若者の定住に繋がる。

山村独自の文化など地域の魅力を向上させるため、基盤となる道路ネットワークづくりを推進する。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

愛媛県久万高原町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	幹線道路の整備 ・ 防災危険箇所の整備 ・ 道路線形不良箇所	・ 安全・安心な通行確保 ・ 定時性確保し地場産業の推進 ・ 交通事故の減少 ・ 災害など有事の際の迅速な対応 ・ 事前通行制限箇所の解除(緩和) ・ 生鮮作物などの確実な出荷	
・住民ニーズの広域化、高齢化への対応	合併に伴う地域間の道路基盤整備 ・ 町内の交流促進 ・ 町村の枠を越えた広域交流圏 ・ 救命救急業務の充実	・ 交流促進による地域活性化 ・ 道路網整備による都市と農山村の活発な交流 ・ 救急搬送の時間短縮(命を繋ぐ道)	